

公園管理運営士について

昨今、都市公園においてはニーズの多様化や高度化への期待が高まると共に、指定管理者制度等により公園の管理運営業務に幅広い団体が参加する等管理運営を円滑かつ効果的に推進するマネジメント能力を備えた人材の養成が喫緊の課題となっております。

こうしたニーズに応えられる一定水準の知識、技術、能力を持つ公園管理運営士認定試験(平成18年度から実施)に合格した人材が公園管理運営士です。

これまでに約1,900名(平成25年現在)が公園管理運営士として登録されております。

公園管理運営士は指定管理者選考の場面で評価されたり、自治体の管理運営委託業務等の配置予定技術者の要件として認められる等徐々にその存在感を増しつつある資格です。また、最近では公園の管理運営を行う法人が人材を採用する際の条件とする等資格保有者の活躍の場も増えてきました。

平成20年に日本公園緑地協会が行った全国の都道府県、一定規模以上の都市154箇所の自治体担当者のアンケート(回答率23%)調査では、60%以上の担当者に「公園管理運営士を指定管理者の選考の参考にすると思う」と回答をいただいております。

【資格名称】

公園管理運営士(Qualified Park Administrator)略称QPA

【試験実施・認定機関】

一般社団法人 日本公園緑地協会

【公園管理運営士の職能】

①職能対象:現場の実務責任者レベル

公園管理運営業務は、一般に常設の現場管理組織において執行されています。このため資格認定の対象とする職能は、現場の実務責任者レベルに必要な「実務的な知識・経験及び管理運営の実行能力」を対象とします。

②職能領域:一体的、総括的能力

公園管理運営は、幅広い領域を総合化し統括的に計画・実行されること、また現場の実務責任者として機能するためには、公園管理に関する総合的な知識・理解力や実行力等のマネジメント能力が不可欠なことから、公園管理運営士の一体的・総括的な職能として捉えています。

◎公園管理運営士の職能イメージ

- ・公園及びその管理運営の意義、機能、目標等について十分認識している。
- ・植物管理や施設管理について、実施に必要な知識、技術を持っている。
- ・管理の作業計画を立て、作業監督の役割も担える。
- ・公園内での安全管理や事故防止の実践、そして緊急時の対応能力を持っている。
- ・公園に求められている利用者サービスや広報、イベントなどを企画し実施できる。
- ・ボランティア等とも良いコミュニケーションをつくることができ、市民参加を促進できる。
- ・自然環境保全、防災、文化の伝承、レクリエーションの場の提供、コミュニティ形成など、公園の果たすべき役割を理解し、役割を果たすための取り組みを計画、実施できる。
- ・環境教育や園内ガイド等、公園に合ったプログラムを計画、実施できる。
- ・都市公園法など関係法規や諸規定等の内容を理解し、これを遵守した管理運営を実施できる。
- ・業務をより効果的、効率的に推進するための方策を検討し、実施することができる。
- ・管理運営の各業務を総合化し、バランス良い適切な目標による計画を作成することができる。
- ・実施結果に対する評価を行い、課題を改善する管理運営全般のマネジメントを実施できる。

◎公園管理運営士認定試験合格者数(過去4か年の状況)

【一次試験】

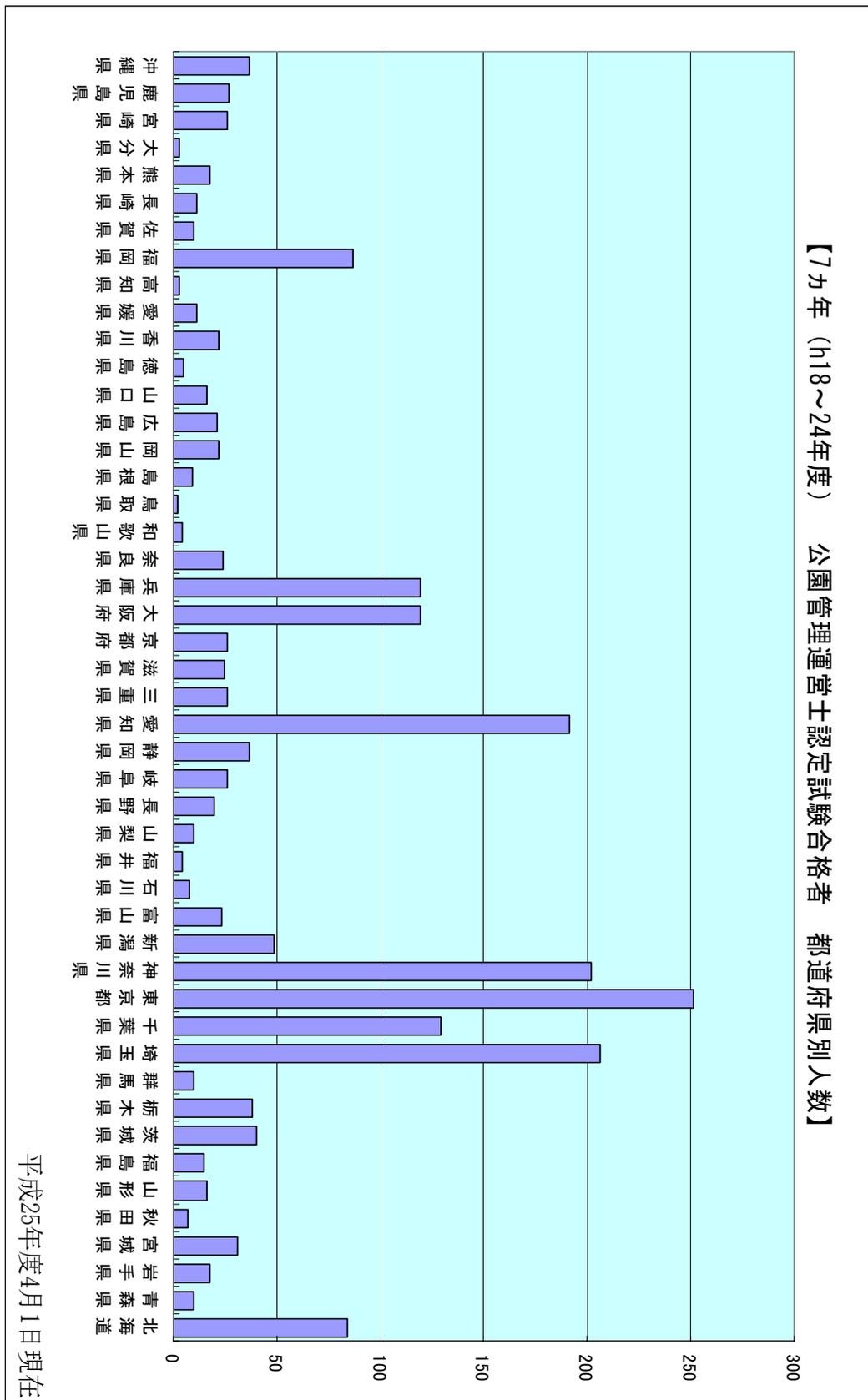
実施年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
受験者数	257名	318名	312名	296名
合格者数	146名	153名	169名	156名
合格率	56.8%	48.1%	54.5%	52.7%

【二次試験】

実施年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
受験者数	161名	159名	185名	168名
合格者数	135名	155名	167名	156名
合格率	83.9%	90.6%	90.3%	92.8%

注)一次試験合格者数と二次試験受験者数が異なるのは、二次試験受験資格が翌年度も有効なため。

◎公園管理運営士有資格者都道府県別人員

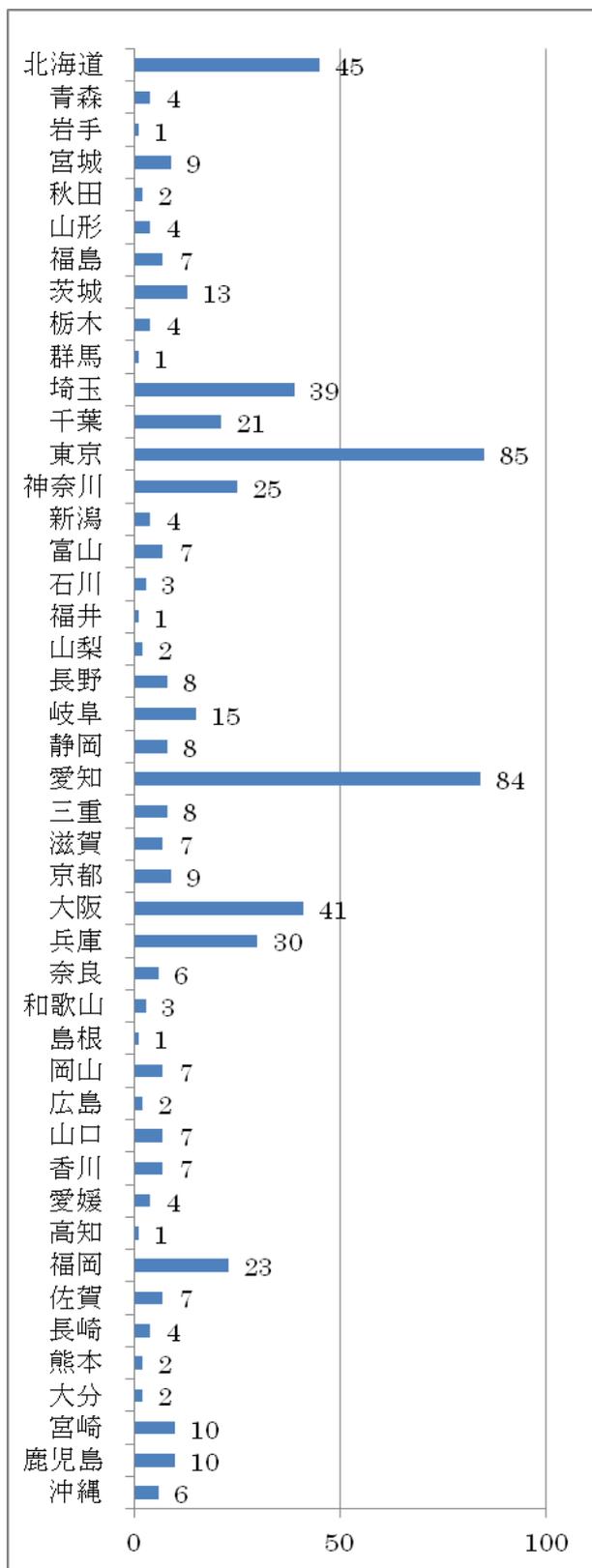


◎職業別割合

公務員	4.9%
公益一般法人	39.4%
民間	53.8%
個人(教職員他)	0.8%
NPO法人等	1.1%

公園管理運営士会会員の状況（平成25年5月28日現在）

都道府県別会員数（589名）



賛助会員（18団体）

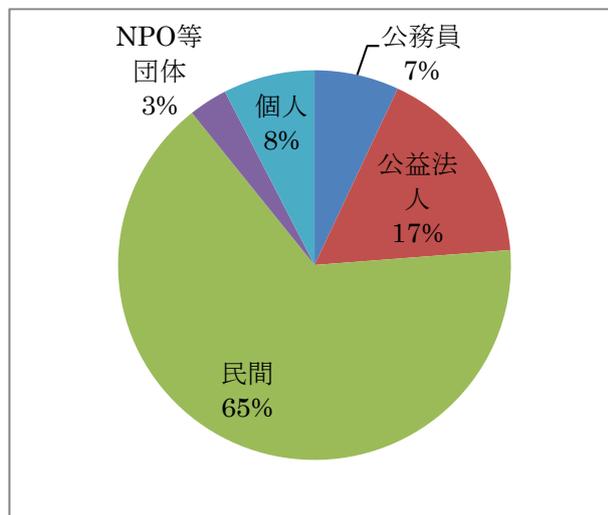
- 株式会社 馬原造園建設
- 株式会社 美交工業
- 一般社団法人 日本公園緑地協会
- 西武造園 株式会社
- 株式会社 ファーム
- 株式会社 東京ランドスケープ研究所
- 公益財団法人 埼玉県公園緑地協会
- 公益財団法人 名古屋市みどりの協会
- 株式会社 日比谷アメニス
- 公益財団法人 東京都公園協会
- 日日石材 株式会社
- 横浜緑地 株式会社
- 一般財団法人 沖縄美ら島財団
- 一般財団法人 公園財団
- 財団法人 札幌市公園緑化協会
- 公益財団法人 愛知県都市整備協会
- 岩間造園 株式会社
- 一般財団法人 日本造園修景協会

公園管理運営士会入会者の概要 (平成 24 年 7 月 1 日現在)

7 月 1 日現在入会者数 345 名

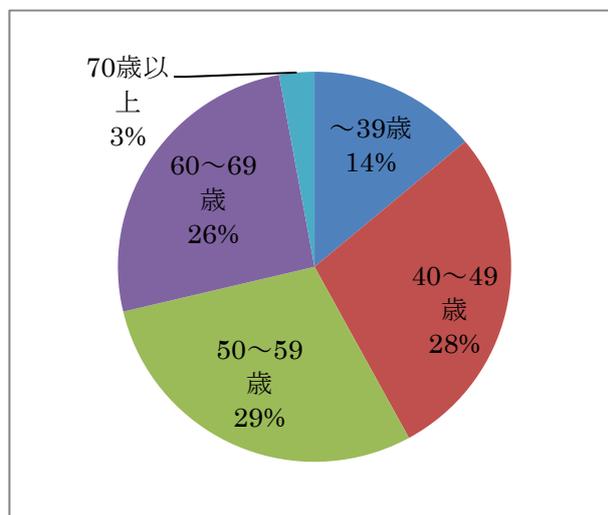
【公園管理運営士会入会者 職業別割合】

公務員	24 人
公益法人	58 人
民間	226 人
NPO 等団体	11 人
個人	26 人



【公園管理運営士会入会者 年齢別割合】

～39 歳	48 人
40～49 歳	97 人
50～59 歳	101 人
60～69 歳	89 人
70 歳以上	10 人

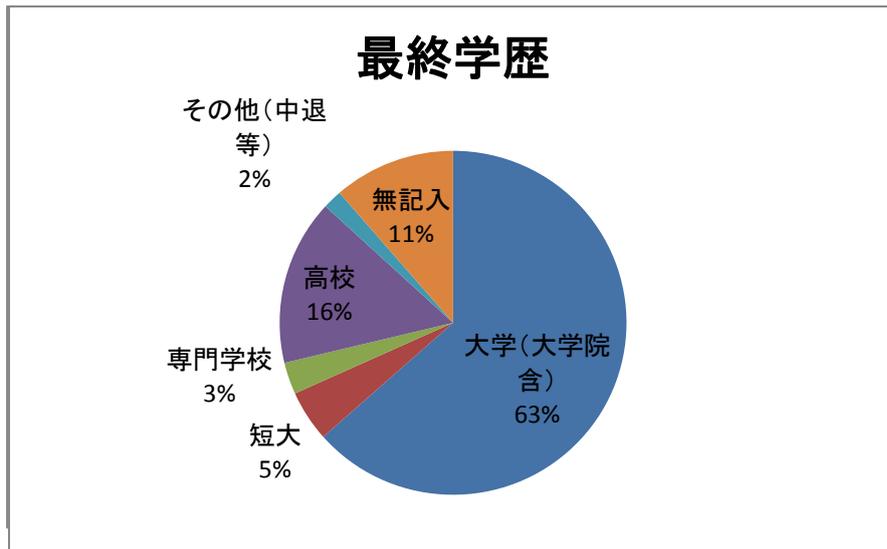


公園管理運営士会会員の今後の活動に関するアンケート調査

回答締切日 平成24年6月15日
調査対象者数 332人
回答者数 167人 (回答率50.3%)
男性 157人 女性 10人
現在の仕事 現職 145人 1~2年で退職又は退職者 20.不明 2人

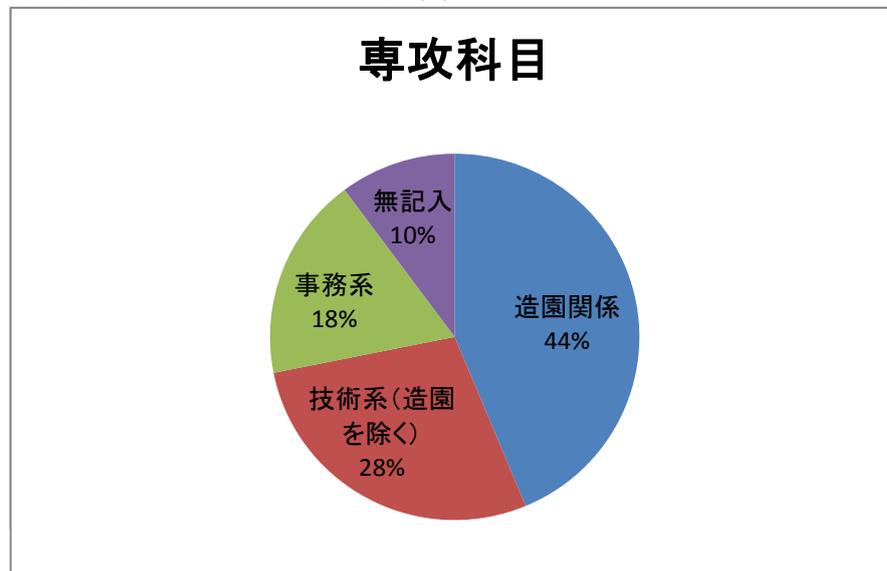
最終学歴

大学(大学院含)	106人
短大	8人
専門学校	5人
高校	26人
その他(中退等)	3人
無記入	19人



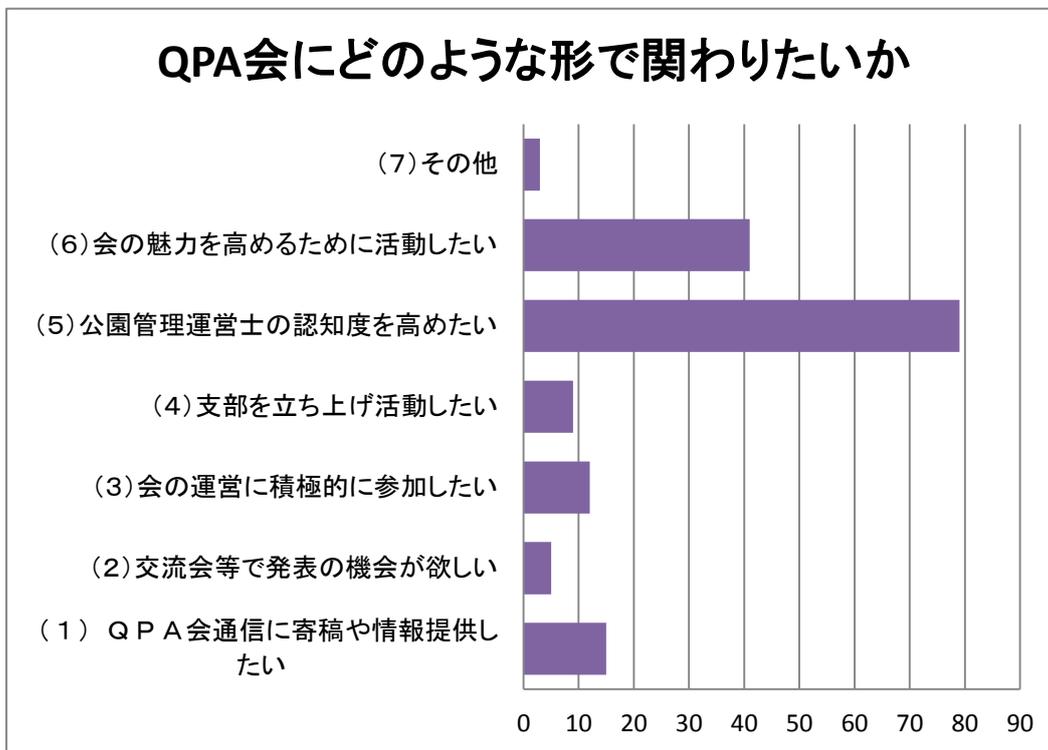
専攻科目

造園関係	73人
技術系(造園を除く)	47人
事務系	30人
無記入	17人



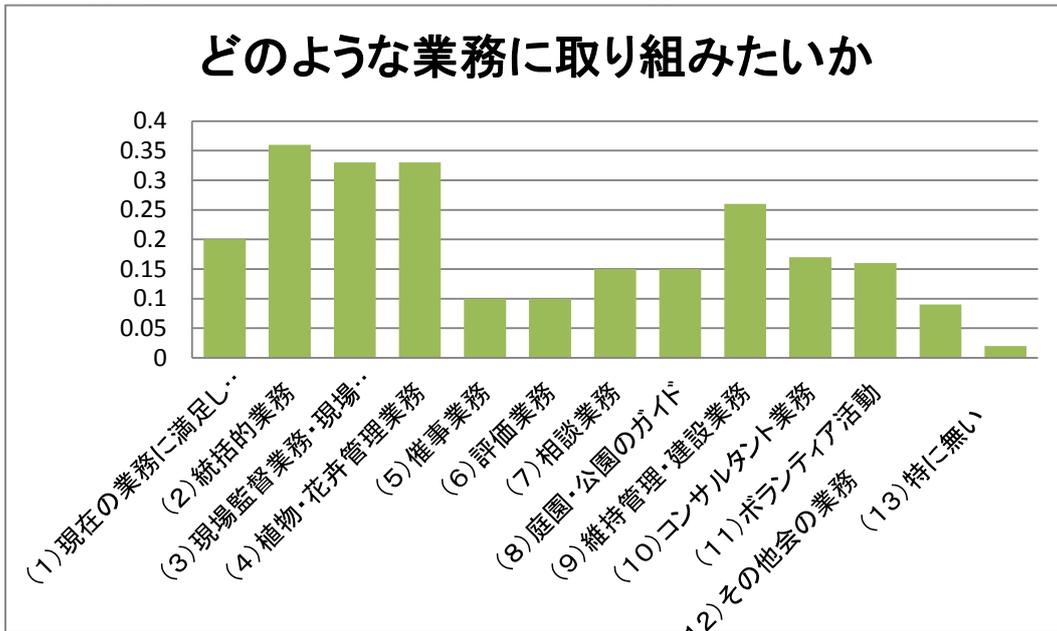
Q1.公園管理運営士会にどのような形で関わりたいか (M.A.)

(1)QPA会通信に寄稿や情報提供したい	15人
(2)交流会等で発表の機会が欲しい	5人
(3)会の運営に積極的に参加したい	12人
(4)支部を立ち上げ活動したい	9人
(5)公園管理運営士の認知度を高めたい	79人
(6)会の魅力を高めるために活動したい	41人
(7)その他	3人



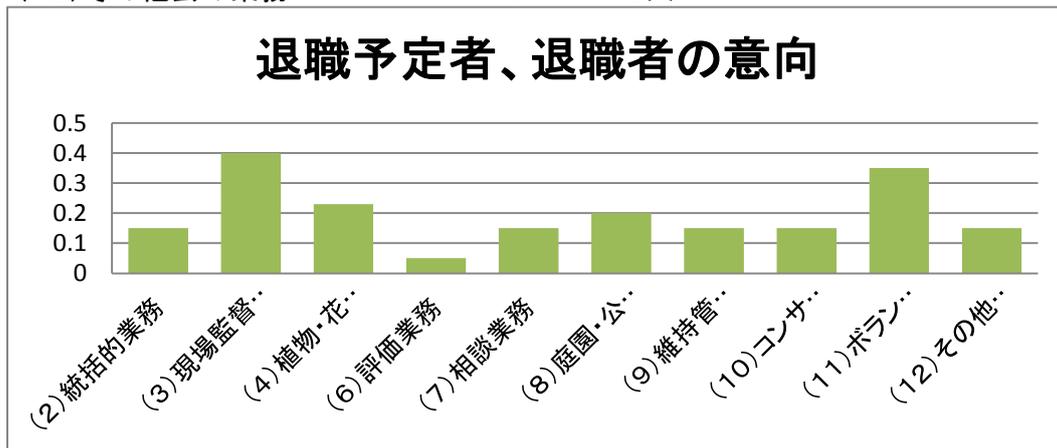
Q2. 公園管理運営士のノウハウを活かして、どのような業務に取り組みたいか (M.A.)

(1)現在の業務に満足している	20%	33人
(2)統括的業務	36%	60人
(3)現場監督業務・現場業務	33%	55人
(4)植物・花卉管理業務	33%	55人
(5)催事業務	10%	17人
(6)評価業務	10%	17人
(7)相談業務	15%	25人
(8)庭園・公園のガイド	15%	25人
(9)維持管理・建設業務	26%	43人
(10)コンサルタント業務	17%	28人
(11)ボランティア活動	16%	27人
(12)その他会の業務	9%	15人
(13)特に無い	2%	3人



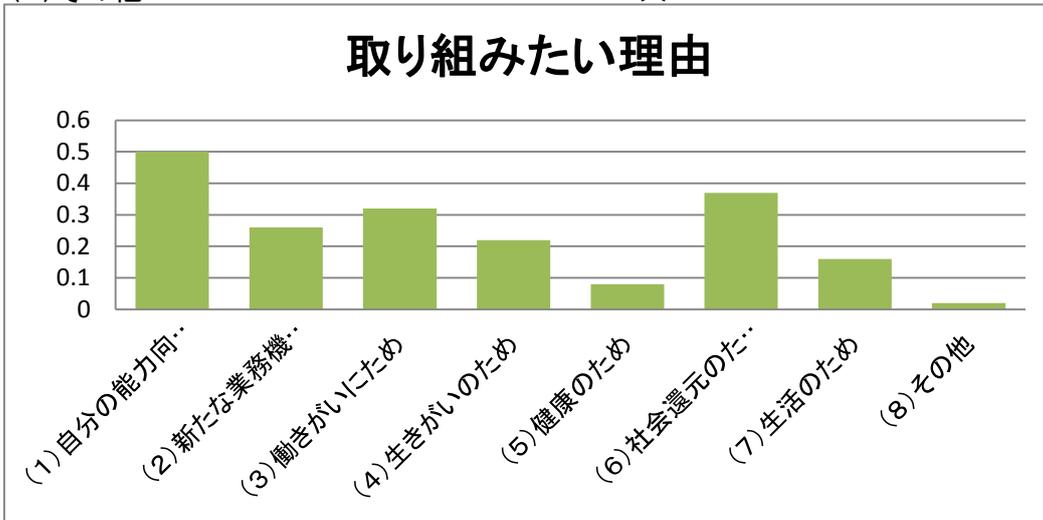
上記のうち、1～2年で退職予定又は退職者の意向 (M.A.)

(2)統括的業務	15%	3人
(3)現場監督業務・現場業務	40%	8人
(4)植物・花卉管理業務	23%	6人
(6)評価業務	5%	1人
(7)相談業務	15%	3人
(8)庭園・公園のガイド	20%	4人
(9)維持管理・建設業務	15%	3人
(10)コンサルタント業務	15%	3人
(11)ボランティア活動	35%	7人
(12)その他会の業務	15%	3人



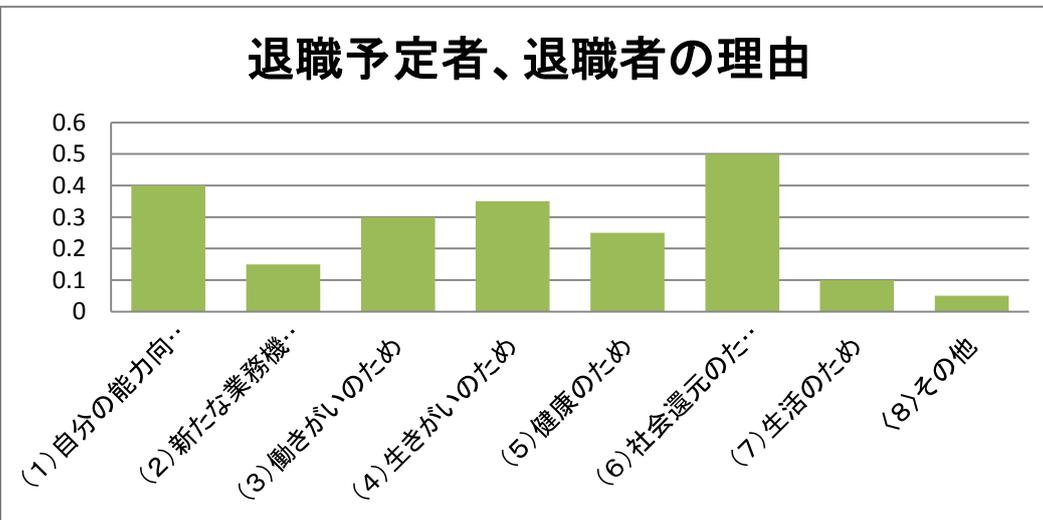
Q3.このような業務に取り組みたい理由 (M.A.)

(1) 自分の能力向上のため	50%	84人
(2) 新たな業務機会を得るため	26%	43人
(3) 働きがいのため	32%	54人
(4) 生きがいのため	22%	37人
(5) 健康のため	8%	14人
(6) 社会還元のため(社会奉仕)	37%	61人
(7) 生活のため	16%	26人
(8) その他	2%	4人



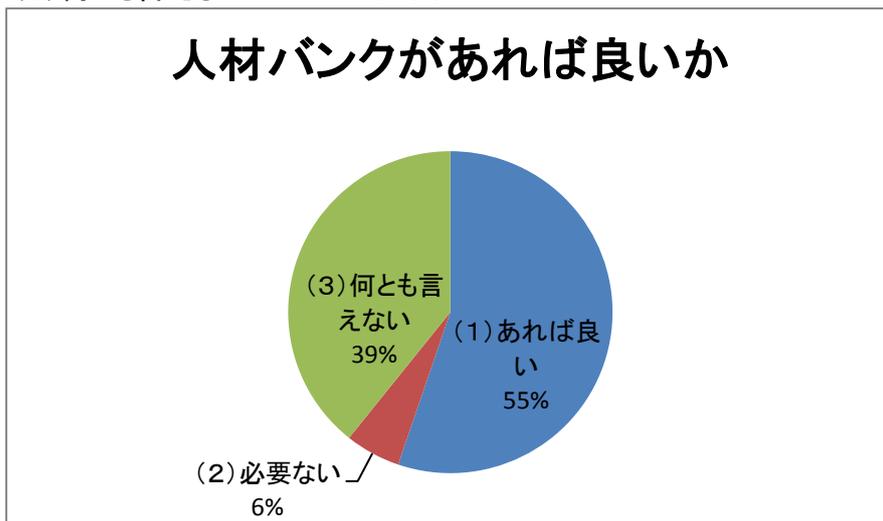
上記のうち、1～2年で退職予定者又は退職者の理由 (M.A.)

(1) 自分の能力向上のため	40%	8人
(2) 新たな業務機会を得るため	15%	3人
(3) 働きがいのため	30%	6人
(4) 生きがいのため	35%	7人
(5) 健康のため	25%	2人
(6) 社会還元のため(社会奉仕)	50%	10人
(7) 生活のため	10%	2人
(8) その他	5%	1人



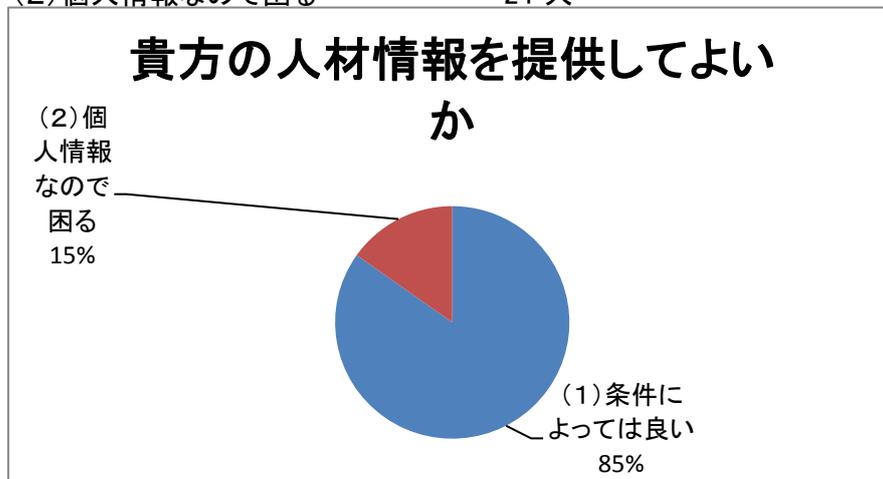
Q4. 造園に関する「人材バンク」があれば良いか

- (1) あれば良い 90 人
- (2) 必要ない 9 人
- (3) 何とも言えない 64 人



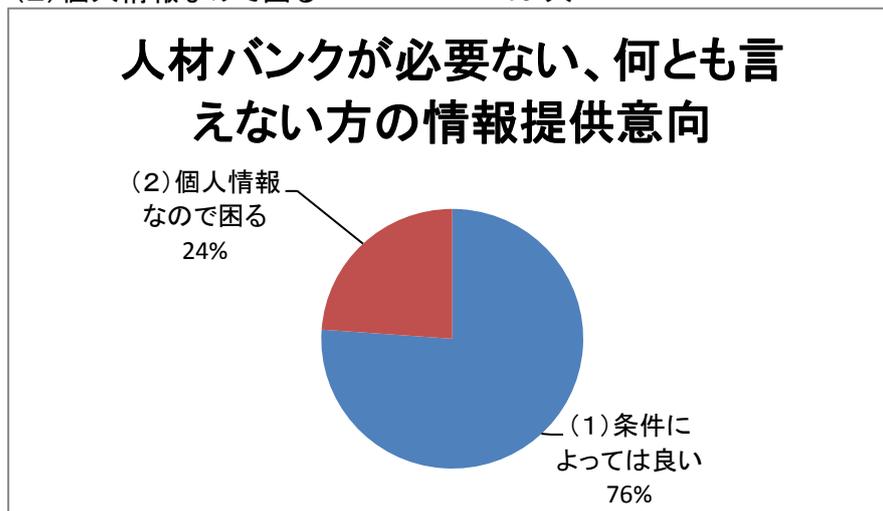
Q5. 貴方の人材情報を関係団体に提供してよいか

- (1) 条件によっては良い 134 人
- (2) 個人情報なので困る 24 人



Q4で必要ない、何とも言えないと答えた方の人材情報の提供についての意向

- (1) 条件によっては良い 51 人
- (2) 個人情報なので困る 16 人



公園管理運営士会等について気づいた点

- ・若い人が参加して満足できる会にできればよい
- ・東海地方で交流会を開きたい
- ・会の開催がほとんど東京なので、地方でも開催して欲しい
- ・地位向上と認知度を高めるため支部を立ち上げたい(東北の方)
- ・認知度が低い、話題を作りマスコミに取り上げてもらうと良い
- ・認知度を高め、資格者の雇用促進になるように
- ・認知度を高め、指定管理業務の受注に結びつくようになって欲しい
- ・認知度を高めるために各自が10年計画でコツコツと活動する必要がある
- ・指定管理制度において、公園管理運営士の価値を認識してもらう
- ・公園管理運営士が指定管理を行う必須の格になるよう行政に働きかける
- ・資格の位置づけ向上にむけ更なる活動をお願いする
- ・定年退職後、ノウハウを活かして公園の管理業務に参加できるよう会が役割を担って欲しい
- ・人材情報のしっかりした仕組み作り、求人求職側共に満足できればより良い公園管理に繋がる
- ・当会の人材バンクへの取り組みを期待している
- ・指定管理制度が創設されてから現場の労働条件が悪化傾向のように思える、実態を調査しては
- ・更新手続きが全国で2箇所は少なすぎる